

ヤーマン株式会社  
平成30年4月期第3四半期決算説明資料

平成30年3月14日

業績ハイライト	…	3
財務ハイライト	…	5
セグメント別売上	…	6
売上構成	…	8
第44期第4四半期以降の取り組み	…	9
業績予想	…	10
株主優待について	…	11
配当について	…	13

# 業績ハイライト

特に店販部門を中心に販売が好調だったことに加え、原価低減や社内体制の整備などの取り組みが奏功し、売上・利益ともに前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

回次	第42期 第3四半期 平成27年5月1日～ 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日	第44期 第3四半期 平成29年5月1日～ 平成30年1月31日	【ご参考】 第43期 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日
売上高(千円)	12,049,252	14,867,965	17,597,715	19,969,588
営業利益(千円)	740,939	2,871,743	4,583,453	3,503,274
営業利益率(%)	6.1	19.3	26.0	17.5
経常利益(千円)	704,388	2,927,137	4,531,326	3,533,869
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	408,540	1,855,323	2,879,235	2,269,042
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.00	32.53	50.49	39.79

(注) 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、第42期の期首に当該分割が行われたものと仮定して、1株当たりの数値を算定しております。

## 【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

回次	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日	第44期 第3四半期 平成29年5月1日～ 平成30年1月31日
売上高(千円)	13,363,663	16,310,824	19,969,588	17,597,715
営業利益(千円)	647,821	1,028,422	3,503,274	4,583,453
営業利益率(%)	4.8	6.3	17.5	26.0
経常利益(千円)	514,718	1,002,211	3,533,869	4,531,326
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(千円)	311,835	591,524	2,269,042	2,879,235
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	5.34	10.16	39.79	50.49

(注) 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、第41期の期首に当該分割が行われたものと仮定して、1株当たりの数値を算定しております。

# 財務ハイライト

手許資金については、ヤーマンブランド浸透のための広告宣伝、新製品の研究開発、直営店の出店、国内外の新たな販路の開拓・拡大といった、今後の成長に備えるための投資に充てる予定です。

回次	第42期 第3四半期 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成29年1月31日	第44期 第3四半期 平成30年1月31日	【ご参考】 第43期 平成29年4月30日
総資産(千円)	11,049,251	12,871,576	16,082,707	13,947,032
純資産(千円)	6,930,764	8,471,016	11,358,511	8,884,938
自己資本比率(%)	62.7	65.8	70.6	63.7
現預金(千円)	5,469,803	7,819,746	9,774,154	8,460,290
売上債権(千円)	1,519,906	1,344,566	2,160,749	2,347,827
棚卸資産(千円)	2,244,585	1,907,583	2,054,050	1,285,957
仕入債務(千円)	1,091,731	1,065,964	1,582,728	1,241,352
有利子負債(千円)	1,716,650	1,217,526	740,555	1,096,318

# セグメント別売上

通販部門が業界全体の不振に伴い苦戦しましたが、店販部門が免税店向け卸売事業を中心に大きく売上を伸ばしたほか、海外部門も売上を拡大しました。

回次	第42期 第3四半期 平成27年5月1日～ 平成28年1月31日	第43期 第3四半期 平成28年5月1日～ 平成29年1月31日	第44期 第3四半期 平成29年5月1日～ 平成30年1月31日	【ご参考】 第43期 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日
通販部門(千円)	3,574,708	3,688,140	3,026,590	4,662,885
店販部門(千円)	3,013,095	4,730,820	7,687,244	6,909,317
直販部門(千円)	4,990,234	4,583,525	4,347,059	5,759,948
海外部門(千円)	453,293	1,793,460	2,491,817	2,511,577
その他(千円)	17,919	72,018	45,003	125,859
合計(千円)	12,049,252	14,867,965	17,597,715	19,969,588

(注) 前期より、従来「その他」に含まれていた「海外部門」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

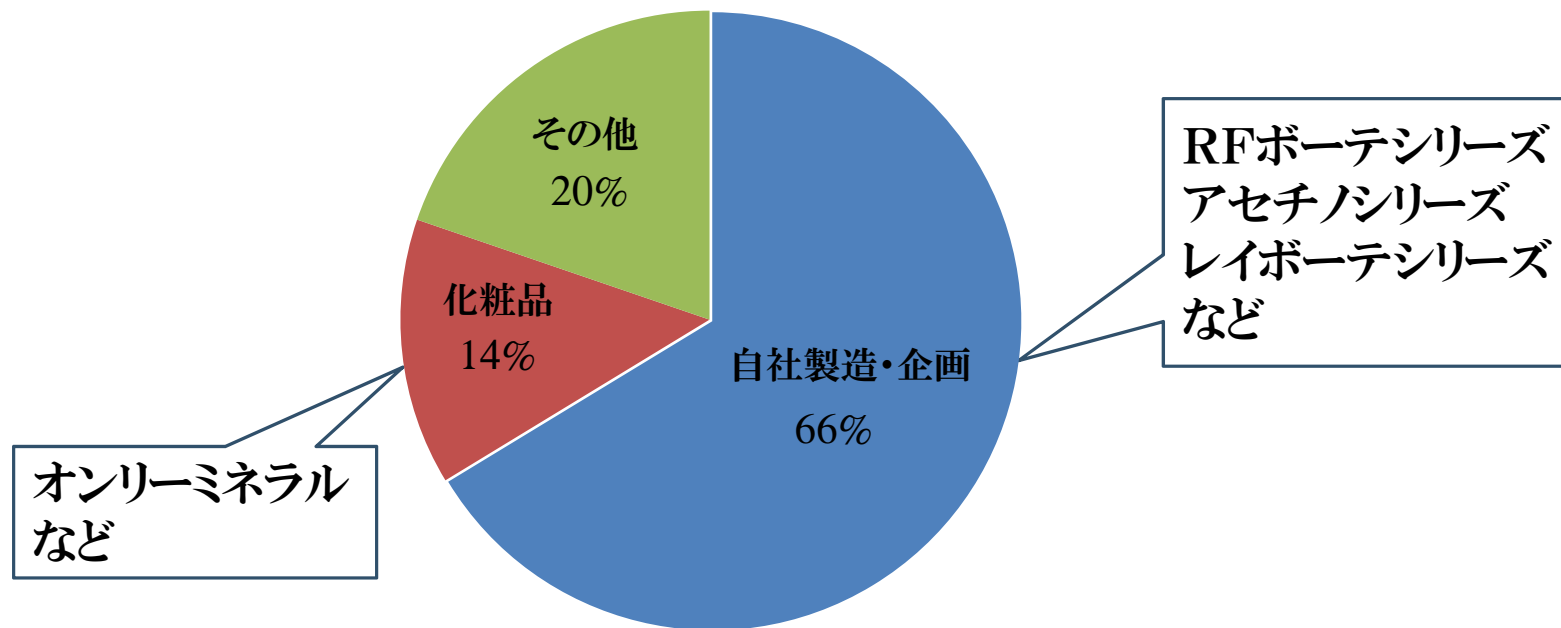
## 【ご参考】直前期までの通期の実績との比較

回次	第41期 平成26年5月1日～ 平成27年4月30日	第42期 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日	第44期 第3四半期 平成29年5月1日～ 平成30年1月31日
通販部門(千円)	5,338,088	4,770,882	4,662,885	3,026,590
店販部門(千円)	3,496,485	4,364,668	6,909,317	7,687,244
直販部門(千円)	4,027,476	6,406,546	5,759,948	4,347,059
海外部門(千円)	376,004	749,358	2,511,577	2,491,817
その他(千円)	125,608	19,368	125,859	45,003
合計(千円)	13,363,663	16,310,824	19,969,588	17,597,715

# 売上構成

当第3四半期(平成29年5月～平成30年1月)の売上構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が66%、化粧品が14%、その他仕入品などが20%。

自社開発製品の「RFボーテシリーズ」(ラジオ波を使った美顔器)が引き続き売上を牽引しました。





## 第44期第4四半期以降の取り組み

- コスト削減、在庫圧縮、業務の効率化などの取り組みを継続し、足元の体質強化を図ってまいります。
- 新製品の研究開発、国内外の新たな販路の開拓、優秀な人材の確保など、これからの業績拡大の基礎となる項目への投資を進めてまいります。
- 平成30年5月に創設40周年を迎えるにあたり、ヤーマンブランドの浸透を目標とした広告宣伝活動にも注力してまいります。

# 業績予想

業績予想につきましては、平成29年11月20日付で開示した数値に変更はありません。今後、修正の必要が生じた場合には、直ちに開示する予定です。

回次	第42期 (実績) 平成27年5月1日～ 平成28年4月30日	第43期 (実績) 平成28年5月1日～ 平成29年4月30日	第44期通期 (予想) 平成29年5月1日～ 平成30年4月30日
売上高(千円)	16,310,824	19,969,588	22,084,007
営業利益(千円)	1,028,422	3,503,274	4,577,262
経常利益(千円)	1,002,211	3,533,869	4,571,131
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	591,524	2,269,042	2,915,344
1株当たり当期純利益(円)	10.16	39.79	51.12

(注) 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、第42期の期首に当該分割が行われたものと仮定して、1株当たりの数値を算定しております。

# 株主優待について

平成30年4月期の株主優待につきましては、平成30年4月30日現在の株主名簿に記録された1单元(100株、分割前の10株相当)以上保有の株主様を対象に、所有株数に応じて下記の当社製品を贈呈いたします。

■ 100株以上500株未満 …… 13,000円相当の自社商品

「ミネラルエアースターターセット」

\* ヤーマンの美顔器テクノロジーがリキッドファンデーションと融合した、エアーでまとう“塗らない”ファンデーション「ミネラルエアー」から、この夏発売予定の新製品をご提供いたします。



■ 500株以上 …… 46,000円相当の自社商品

「H/Cボーテ ピュア水素水スチーマー飲用ボトルセット」



新しく“進化した”  
ミネラルファンデーション

MINERAL<sup>air</sup>



# 配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとしてとらえており、配当につきましては、毎期安定的・継続的な実施を原則とし、積極的な事業展開や内部留保による財務基盤の強化を維持しつつ、期中の業績や配当性向などを総合的に勘案し、最終的な金額を決定することとしております。

期末配当につきましては、分割後1株につき1.8円の予想を据え置いておりますが、上記の方針に基づき検討してまいり所存ですので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- \* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- \* 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- \* 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。